

A portrait of Mr. Akashi Akio, a middle-aged man with dark hair and glasses, wearing a dark pinstriped suit, white shirt, and patterned tie. He is seated in a black leather chair, looking slightly to the right of the camera with a serious expression. The background is a blurred indoor setting with green plants and a grey wall.

**川越東武ホテル
和光市東武ホテル**

総支配人

袁輪 明夫 氏

川越東武ホテル、和光市東武ホテルの開業で 活況化する埼玉南部エリア

(株)東武ホテルマネジメントは、6月11日に和光市駅に直結した「和光市東武ホテル」を、6月29日には川越駅の西口からペデストリアンデッキでつながる「川越東武ホテル」を開業。両ホテルは東武東上線の住みたい街上位にもあげられる特別な地域に誕生した地域密着型ホテル。両ホテルの総支配人蓑輪明夫氏に開業の抱負を聞いた。 聞き手・本誌 長谷川耕平／文 飯塚 良子／撮影 林 正

駅直結の好立地に 上質な客室主体型ホテル

□開業おめでとうございます。まず、川越東武ホテルと和光市東武ホテルの特徴を教えてください。

川越東武ホテルは、川越駅西口の新しいランドマーク「U PLACE」の7階から11階に位置し、全168室、ツインルームとトリプルルーム中心の客室構成となります。ターゲットは観光目的の2～3名のお客さまとビジネス利用のお客さま、両方に軸を置き、ビジネス利用のお客さまには、ダブルサイズのベッドをご提供。ゆったりと広々とした快適にご利用頂けるように考慮しております。ベッドは全て英国王室御用達のスランバーランド社製を採用致しました。館内のデザインは、川越という地域性を鑑み、小江戸PRIDE：人の和み×空間の和らぎ×和モダンの調和をテーマとし、フロントは組み木細工の壁面・客室は蔵のある町の石畳を歩いているような気分を味わえるような雰囲気醸し出し、客室もしっとり落ち着いた趣、古くから城下町として栄え、小江戸とも呼ばれる川越。その歴史ある街並みの印象的な蔵造りをデザインに取り入れました。

和光市東武ホテルは駅に直結した複合施設「EQUIA PREMIE 和光」の4階から7階に位置し、158室のうちの9割がダブルルームとシングルルームの構成となります。ベッドは川越同様スランバーランド社製をご用意しております。和光市周辺には、本田技研工業、理科学研

究所、陸上自衛隊朝霞駐屯地、ホンダ開発などの優良企業が多く、ビジネスユースの需要を見込みます。また、和光市駅は、電車の利便性だけでなく、車移動の利便性も高く、東京外環自動車道のインターチェンジに近く、東京都内へのアクセスのみならず、都内の渋滞を回避し関東広範囲へ抜けられる立地です。館内デザインは、機能性と利便性を重視しつつも、モダンデザインと植物や自然素材などの要素が調和した潤い豊かなくつろぎのある空間をテーマにご提供させていただいております。

□二つのホテルのエリア戦略についてお話しただけですか。

東武東上線の和光市駅は池袋駅から最短12分の立地で、商圏は和光市駅近隣施設利用のお客さまのみならず、山手線近郊の広域がターゲットと考えます。受験シーズンや都内でのイベントが開催される際には、利便性の良さから和光市駅は選択肢の一つに挙がるものと考えています。特に池袋駅近郊は、客室数が少なく、ホテルが不足している傾向にありますし、和光市駅は東武東上線、東京メトロ副都心線・有楽町線も乗り入れている強みから、知名度が上がれば利用していただきやすいホテルとなるのではないかと考えています。

川越は電車の利便性より大宮、東武東上線沿線寄居の優良企業の工場などを商圏と見込んでいます。

川越・和光市と商圏が重なる部分もありますので、両ホテルの統括総支配人という組織体系を取り、ホテルの特徴を

いかした棲み分けを行ない、両立を図っていきたくと思っています。客室の価格帯は、川越はツイン・トリプルが多くありますので、少し高額設定で、ビジネス需要と観光需要を取り込みます。

和光市は、ビジネス客を中心に都内の需要を視野に入れながら、お手ごろな価格帯での提供を見込んでおります。

現在は3年後目標の準備期間

□3年後はどのような目標にしていますか。

新型コロナウイルス禍の中、先行きが不透明であり、販売戦略も立てづらいことより、1年間は準備期間と考えております。収益を上げることより、より多くのお客さまに認知をしていただけることを目指しています。3年後の飛躍を目指し、今何をすべきかがテーマです。ホテル開業準備段階は当然、インバウンド集客と国内のお客さま両方をターゲットとした戦略を描いておりました。

環境は、新型コロナで一変しましたので販売戦略の見直しが必然となりました。

このような時代の中、最終的には地元を受け入れられるホテルを目指すこととしました。

川越・和光市は東武東上線沿線で住みたい街にランクインするような住宅街を持ち合わせています。ここに着目しました。

核家族化が進んだ住宅地域で来客があっても泊める部屋がないのではない



かと考え、地元を受け入れられるように、地道に業界・自治会にお邪魔させていただき、地道に業界・自治会にお邪魔させていただき、地道に業界・自治会にお邪魔させていただき、地道に業界・自治会にお邪魔させていただきます。基本的なことですが、お客さまには積極的に声がけをして、どこから、どのような目的でお越しになられたのかをお聞きし、マーケット戦略に役立てています。

おかげさまで、3点分離（浴槽・トイレ・洗面）や大きめの浴槽などの特徴を知って頂き、多くの地元のお客さまよりお問い合わせをいただき、ご利用をいただいております。3年後の未来像ですが、新型コロナウイルスも沈静化していると思います。ADRは1万円を見込んでいます。2ホテルとも、ADRが高額な都内のホテルとは異なりますし、

稼働率も80～85%程度と考えます。

客室稼働より人員稼働を高め、客室単価を上げる戦略でADRを上げていきたいと考えています。

また、地域密着型ホテルを掲げ、地域1番のホテルを目標にしていきます。当然、地域密着型ホテルですので営業は、地域に関係があるところからとなります。徐々に学校、病院、製薬会社などの東京に本社・本店があり川越や和光に営業所や工場があるところにマーケットを広げたいと思っています。

当然将来はインバウンドもシェアに入れ営業をしていきます。川越・和光市ともに羽田・成田へのリムジンバスの発着場所にもなっており、川越には観光・和光市には、海外からの出張需要が多

くあります。積極的に取り込んでいきたいと考えています。

また、和光には、池袋近郊エリア、川越には、大宮があります。大宮は、北関東の中でも大きなマーケットになります。大型コンサートやイベントのリサーチも常にしています。

3年後を目指し、準備を始め着実に飛躍をしていきたいと考えております。

□新型コロナ対策として行なっていることは。

DATA
川越東武ホテル
 埼玉県川越市脇田本町 8-1
 TEL:049-241-0111
<http://www.tobuhotel.co.jp/kawagoe2020>



フロントカウンターは飛沫感染防止の透明の亚克力板で仕切り、お客さまには、全員チェックイン前に、検温と手のアルコール消毒をお願いし、不特定多数の方が触れる場所は、一定時間ごとにアルコール消毒を実施しております。スタッフには朝と昼に検温を義務付け、マスク着用、うがい、手洗いを徹底し、積極的に検診を受けさせ、健康管理には気を使っています。

また、万が一、発熱がみられたり、海外から帰国され一定期間の待機が必要なお客さまがお越しになられた場合に備え、専用区画の客室をご用意しています。

一般のお客様との接触を最低限減らせるよう、できるかぎりの配慮を行なっ

ております。また、外気循環が可能な自動換気システム、加湿器付き空気清浄機、混雑を避けるために客室のテレビでは、朝食会場の混雑状況・ランドリーの使用状況の確認が可能です。また、客室の空調等を調整できるタブレットより清掃指示が行なえるような仕組みも取り入れております。

自動チェックイン・チェックアウト機の活用等により、現金授受の機会を減らし、感染予防に努めております。

このように感染症対策を徹底しており、認証マークを掲げ、皆様に安全・安心な環境を目に見える形でご提示していければと考えております。

□これからの目標や課題は。

川越・和光市共に地域密着型の営業戦略となりますので、地域の活性化が課題となります。新しく複合商業施設ができ、その上層階にホテルが建設されました。これを機にさらに地域貢献できるように盛り上げていきたいと考えております。観光協会・自治会・地域企業・交通機関等と協力し地域の活性化を図り、3年後には、地域1番のホテルを目指していきたいと思えます。

DATA

和光市東武ホテル

埼玉県和光市本町 4-7

TEL:048-450-0111

<http://www.tobuhotel.co.jp/wako>